

2025年3月号
令和7年3月7日

漁況情報・浜の話題

神奈川県水産技術センター
企画研究部 046-882-2489
相模湾試験場 0465-23-8531
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/wadai/>



漁況情報

【2月】小坪・鎌倉：天然ワカメ、順調

2月から、各地で天然ワカメが収穫されています。小坪や鎌倉では、天然ワカメの生育が順調で、既に製品サイズのワカメを収穫したほか、これから成長する株もあり漁が続いています。

浜の話題

【2月7日】茅ヶ崎：茅ヶ崎はまぐり部会勉強会

2月7日、茅ヶ崎市漁協はまぐり部会で「ハマグリ資源増殖・管理」についての勉強会を開催しました。当日は漁業者・漁協職員8名と茅ヶ崎市農業水産課職員2名が参加し、ハマグリの生態や先進地の「放流歩金と資源管理規定による資源増殖事例」について普及員が説明しました。勉強会の後、茅ヶ崎はまぐり部会の放流歩金(200円/kg)や大きさ制限・禁漁期設定等について協議し、同部会の資源増殖・管理規定が策定されました。同部会では、ハマグリを茅ヶ崎の新たな特産品とすべく、部会員が一丸となって資源増殖に取り組んで行くことになりました。



勉強会の様子

【2月8日】鎌倉：ハマグリ、テレビ放映

2月8日、湘南漁協鎌倉支所所属の漁業者が漁獲するハマグリ(チョウセンハマグリ)がTBS「所さん お届けモノです!」で紹介されました。番組では、もんざ丸(前田青年漁業士)による貝桁漁で漁獲されたハマグリの大きさと美味しさ出演者が驚嘆していました。

【2月10日】佐島・秋谷：アワビ放流

2月10日、湘南漁協佐島支所は、(一財)横須賀西部水産振興事業団の支援を受けて、アワビ種苗を佐島及び秋谷地先に6,500個放流しました。放流は、磯焼けの回復が見られるところを

選び、魚に捕食されないよう工夫をしながら行いました。

【2月14日】県：第2回相模湾定置網漁海況説明会

2月14日、県定置漁業研究会と相模湾試験場は小田原水産合同庁舎で第2回相模湾定置網漁海況説明会を開催しました。企画研究部と相模湾試験場の研究員から、「定置網漁海況経過と見通し」、「本県におけるマアジの漁況」、「近年の相模湾におけるマイワシ漁獲動向の変化」の3課題について、話題提供がありました。漁業者や関係団体など計21名の参加があり、盛況な会となりました。



説明会の様子

【2月17日】茅ヶ崎：ハマグリ分布調査

2月17日、茅ヶ崎はまぐり部会では、これまでまとまった漁がなかった漁港西側海域（西浜）を、貝桁曳により重点的に調査しました。当日は同部会会長今澤指導漁業士（萬蔵丸）と、満潮140cmの潮位の凧時に3, 4, 6mの水深別に調査したところ、3mラインで10.7kg（57個）の採捕がありました。大きさは90～100mm主体で、35～73mmも確認され（70mm以下は計測後に同部会の資源増殖・管理規定により放流）、西浜にさまざまな成長段階のハマグリが居付いていることが明らかになりました。今後の種苗放流を通じた増殖により、新たな好漁場となることが期待される有意義な調査となりました。



貝桁調査の様子と採捕されたハマグリ

【2月17日】小田原：刺網漁業体験

2月17日、県漁業士会は、小田原市から委託された漁業後継者育成事業の一環として、県立海洋科学高校の生徒を対象に刺網の体験漁業を実施しました。当日は1年生2名が小田原市漁協所属の刺網漁船（藤八丸）に乗船し、魚の体験をしました。漁業者は、将来漁業の担い手となるきっかけの一つになればと話していました。

【2月20日】小田原：カジメ増殖活動

2月20日、小田原藻場再生活動組織は江之浦地先に設置した藻礁内へ、早熟カジメ株を追加しました。追加したカジメ株はロープのまま藻礁に縛るタイプと、建材ブロックに括り付け投入するタイプの2種類の方式を試しました。作業性や効果を確認しながら、藻場再生活動を進めていきます。



ロープのままカゴに縛りつけたカジメ



建材ブロックに括り付けたカジメ

【2月22日】東京：漁業就業支援フェア

2月22日、(一社)全国漁業就業者確保育成センター主催の「漁業就業支援フェア2025冬」が東京で開催されました。本県からは、小田原市漁協定置部、(有)湘南定置、(有)福浦定置網、真鶴町漁協定置網漁業部、(株)住吉漁業、県・県漁連の6ブースで出展しました。当日は全体で172名の来場があり、本県と県漁連のブースでは、全都道府県中2番目に多い17名の来場があり、漁業就業に対する熱い想いを語られる方が多くみられました。定置網漁業者のブースでは、実際に定置網に体験乗船を希望する方もいて、今後の就業に繋がることが期待されます。

神奈川県内の漁業就業者募集情報

<https://www.kngyoren.com/pages/107/>



「漁業就業支援フェア 2025冬」の様子

【2月24日】金沢：漁港海産物フェスタ

2月24日、横浜市漁協金沢支所は、金沢漁港で「金沢漁港海産物フェスタ 令和7年」を開催しました。毎年大人気の漁師女将のあさりご飯、朝採れ生わかめ販売、生海苔むしり体験、金沢漁港で水揚げされた海産物販売、ブルーカーボンSDGsブース、多くのキッチンカーなどが出店されていました。天候にも恵まれ、入場者は10,000人を超え、お子様からお年寄りまで楽しく過ごされていました。



多くのお客様



漁師女将のあさりご飯



生海苔むしり体験

【2月28日】鎌倉：アワビ放流

2月28日、湘南漁協鎌倉支所は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受けて、アワビ種苗を鎌倉地先に5,500個放流しました。放流は、大きな石(ゴロタ石)があり、磯焼けの回復が見られるところを選び、魚に捕食されないよう工夫をしながら行いました。

【2月28日】江の島片瀬：江の島はまぐり部会総会

2月28日、江の島片瀬漁協で江の島はまぐり部会は総会を開催しました。ハマグリ漁業先進地の「放流歩金と資源管理規定による資源増殖効果と貝桁調査のポイント」について普及員が説明した後、今年度の漁獲状況や同部会の資源増殖・管理規定についての議事が決議されました。同部会では、漁獲個数の3.3倍放流できる放流歩金(200円/kg)や大きさ制限等の資源管理規定を実践しており、地先のハマグリのもっと増殖を図っています。



総会の様子